

# 中学部 グループ研究 実践報告

## 学部の研究テーマ

「生活単元学習」に着目し、各教科及び自立活動、家庭生活（保護者との連携）との関連付けを整理しながら、活動の充実を図る。

# 1. テーマ設定

## 中学部の課題

- ・生活単元学習の授業づくり(目標設定や評価方法等)が難しい
- ・教科学習での学びを生活で生かせていない
- ・教科と生単を組み合わせた単元構成とした、本年度の年間指導計画の検証が必要



教科と生活の結びつきを考えて、生単の授業づくりの充実を図る

# 2. 取組の方法

グループ研

学部会

【対象】

【1学期】

科学の祭典

【2学期】

海に行こう

年間計画の中からこれらの単元を取り挙げ効果的な生単の授業づくりについて検証

単元の目標設定と共有

授業計画、内容等の検討

授業実践

授業の反省、改善案等の検討

2つの授業実践を通して効果的だった手法をその他の単元にも反映

月ごとに生活単元学習の反省

改善点を年間指導計画に記録

【内容】何に着目する？

- ・生単の授業づくり(計画、実践、改善案)の検討
- ・学習したことを生活で生かす場の設定

【ゴールイメージ】

年間指導計画、教育課程の改善

学部研

年間指導計画の見直し

教育課程に反映

# ○1学期の単元構成

社会、理科、外国語、美術（一部）については、生単と教科別の学習を関連させ、単元を構成

教科学習：基本的な知識・技能の習得、まとめ等

生単：教科学習での学びを踏まえて体験的な活動を行い、教科の見方・考え方を働かせながら、学びを深める

単元名	関連する教科の授業 学習内容	活動内容（合わせた教科）
夏野菜を育てよう 	理科 夏野菜の苗の観察、品種の名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜の管理（理科）</li> <li>生長や管理の様子を記録する表の作成（数学）・・・etc</li> </ul>
歓迎遠足 	外国語 身の回りのもの（食べ物やスポーツ、動物等）の英単語	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語をテーマにしたレクリエーション活動（外国語）</li> <li>自己紹介（国語）</li> <li>レクリエーション等で使用する道具の制作（美術）・・・etc</li> </ul>
科学の祭典 	理科 磁石の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>磁石の性質を利用した魚釣りゲーム（理科）</li> <li>釣った魚の数や長さを測る活動（数学）</li> <li>魚釣りゲームで使用する竿や魚の制作（美術）・・・etc</li> </ul>
ここらすへ行こう （1・2年生） 	社会 天草地域の公共施設と役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の利用（社会）</li> <li>昼食代の計算、バス時刻表の見方（数学）</li> <li>プレゼンアプリを用いたまとめ（職業・家庭）・・・etc</li> </ul>

# ○科学の祭典 授業検討会

授業実践に向けて、教科との結びつきに着目して以下の内容を検討



## ①理科で何を学習するか

→身近な生活に関わるものとして【磁石の性質】を題材に設定。

→理科で磁石の性質（引き付けられる物と引き付けられない物があること）をおさえる。

## ②理科の学習を、生単とどのように関連させるか

→磁石の性質を利用した魚釣りゲームを活動の中心に設定。

→魚にクリップやアルミホイルなどを付け、どの魚を狙えば釣り上げられるか考えられるよう活動を工夫。

## ③単元の目標はどのように設定するか

→活動内容を教科の視点で整理。

（磁石の性質を利用したゲーム→理科。釣った魚の数や長さの比較→数学。魚づくり→美術）

→理科を中心に、数学、美術等を合わせた単元の目標を2段階に分けて設定。

# ○科学の祭典 授業実践

## 理科【磁石の性質】

身の回りにある物に磁石を近づけ、磁石に引き付けられる物を探す活動



## 生単【科学の祭典】

### 魚づくり 【美術・理科】



### 磁石の性質を利用した 魚釣りゲーム【理科】



## 理科【磁石の性質】

魚釣りゲームをふりかえって磁石に引き付けられる物と引き付けられない物を分別する活動

### 釣った魚の数や長さの 比較【数学】



### 釣り竿づくり【美術】



# 3. 成果と課題①

## Ⅰ学期【科学の祭典】

### ○着目点

- ・教科と生単の結びつき

### ○成果

- ・単元と関連した教科の内容を取り入れ、理科で学んだ知識・技能を活用。
- ・体験的な学習の重要性を再確認。

### ○課題及び要因

- ①単元の目標まで到達できない生徒もいた。→単元における個人の目標の設定。
- ②内容が生単ではなく、理科に偏っていた。→教科の単元化。生単の内容の見直し。
- ③教科別の指導との関連が薄かった。→教科別の指導との関連。

### ○改善点

- ①生単の指導案の様式を定め、単元における個人目標を設定。
- ②生単を計画する上で大切にしたい視点を学部で検討。
- ③教科別の指導との関連の見直し。

(学部会の中でのその他の意見)

- ・教科も単元化して一定期間にまとめ取りしてはどうか。



# ○ 2 学期に向けての取組

① 生単の指導案の様式を定め、単元における個人目標を定める。

- ・小学部で活用している指導案を使用。
- ・「単元終了時の姿」「単元の目標」「個人の目標」を設定。

生活単元学習「海に行こう～オリジナルフォトフレームを作ろう～」

日 時：令和5年9月19日（火）  
13：15～14：10  
場 所：中学部3年教室  
生 徒：中学部生徒全員16人

1 単元名：海に行こう～オリジナルフォトフレームを作ろう～

2 単元終了時の姿  
○海に興味・関心をもち余暇活動の幅が広がる。  
○貝殻やシーグラスをフレームに並べ、完成させることで思い通りに物を操作し作り上げる楽しさを知る。

3 単元の目標  
○貝殻、シーグラスなどに触れ、興味関心を広げる。  
○貝殻やシーグラスを材料としたフォトフレームの工程表や言葉掛けを手掛かりにして、見通しをもって活動することができる。

8 単元における個人の目標 ※生徒名は名字の順文字

学年	生徒名	重点目標	教科	評価
1年	■	・見学当日の計画を立てたり、海で生き物や貝殻を探したりするなど、意欲的に活動している。	社会	
			教科を選択してください。	
			教科を選択してください。	
1年	■	・見つけた貝殻とシーグラスを分けて袋に入れたり、分けた物の数を正確に数えたりすることができる。	数学	
			教科を選択してください。	
			教科を選択してください。	
1年	■	・貝殻の特徴とその違い（形、色、大きさ触った感じなど）に気付き、様々な種類の貝殻を探ることができる。	理科	
			教科を選択してください。	
			教科を選択してください。	
			社会	

## ○ 2 学期に向けての取組

② 生単を計画する上で大切にしたい視点を学部で話し合う。

- ・ 生徒の実態から、生単で大切にしていきたいことなど、一人一人の考えを共有。
- ・ 職員間で共通するキーワードを整理。

大切にしたいキーワード

一つのテーマに向かってみんなで取り組むことができる

学んだことを生活の中で使う、役立てる

季節や時期、地域、行事、生徒の興味・関心に沿ったテーマ

生活年齢に即した内容

単元の授業担当者はこれらのキーワードを参考に単元目標や内容を計画する。

# ○ 2 学期に向けての取組

## ③ 教科との関連のさせ方を見直す。

### 生活単元学習 ↔ 教科別の学習

期間	単元名・テーマ	単元の目標	活動内容	関連した内容で教科の授業では何ができそうか(朝の個別学習も含む)
9月5日 ~ /20日	「海へ行こう」 ※研究授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天草の海の生き物や貝殻、シーグラスに触れて、興味・関心を広げる</li> <li>・見通しをもって活動に参加できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海の散策(貝殻、シーグラス拾い、生き物の観察)</li> <li>・貝殻やシーグラスを用いたフォトフレーム制作</li> <li>・ユメールでの食事</li> <li>・しおりを用いたバスや食事場の座席確認</li> </ul> <p>【事前準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○BBM係 <ul style="list-style-type: none"> <li>・海や夏に関する音楽選び(BGM)</li> </ul> </li> <li>○旗制作係 <ul style="list-style-type: none"> <li>・集合写真用の旗(海や海の生き物をイメージしたもの)の制作</li> </ul> </li> <li>○リーダー係 <ul style="list-style-type: none"> <li>・当日に安全に関する注意事項を全員に伝える活動</li> <li>・予定表(時間や場所)を見て学級の友達に集合を呼びかける係</li> </ul> </li> </ul>	<p>(例) ・当日の散策で撮った生き物を写真で振り返り、場所や季節、時間帯によってどのような生き物が見られるか学習する【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然愛護、法田通す(ゴミのはいりやせ)【道徳】</li> <li>・砂浜のこ、不安定な場所と歩く練習【自立・三項】</li> <li>・川の流れる水の力(石やシーグラスの形から)【理科】</li> <li>・マッチング(事前に見た写真を集めて見つけてみよう)【自主?】</li> <li>・歌を教える【数学】</li> <li>○海にまつわる漢字、詩、クイズをする。【国語】</li> <li>○不安定な砂地はなぜ危ないのか歩く。【自立】</li> <li>○施設ツアー【社会】</li> <li>○集団行動「社会」</li> <li>○食事のバランスをみる、食べる【教科】</li> <li>○作りおき活動「社会」「美術」「数学」「国語」「音楽」</li> <li>○フォトフレーム作り「美術、数学、国語、自立」</li> </ul>



学部会で共有

# 3. 成果と課題②

## 2学期【海に行こう～オリジナルフォトフレームを作ろう～】

### ○着目点

- ・生単の単元目標と個人目標

### ○成果

- ・生単で大切にしたいキーワードに沿ったテーマ設定と単元目標の設定。
- ・単元における個人目標の設定。
- ・教科別の学習で生単と関連した内容を取り入れた実践。

### ○課題及び要因

- ・単元目標と個人目標がつながっていなかった→生単の単元目標、個人目標の設定の仕方。

### ○改善点

- ・単元の目標を全員で共通理解し、単元の計画や内容を検討。

(学部会の中でのその他の意見)

- ・活動時間が確保できるよう、活動によっては2コマ連続の授業を行ってはどうか。



# ○ 3 学期に向けての取組

○単元の目標を全員で共通理解し、単元計画や内容を検討。

授業検討会準備から個人目標設定まで以下の流れで設定

①事前準備に時間をかけることができるよう、単元開始一か月前に検討会を設定。

②授業検討会

- 
- (1) 単元担当者が「単元終了時の姿」「単元の目標」「単元計画」まで記入した指導案を提示。
  - (2) 「単元終了時の姿」「単元の目標」に重点を置いて検討し、ねらいを明確にする。
  - (3) 単元の目標まで定まったら、目標が達成されるよう、活動内容及び単元計画を検討。

③単元の目標を踏まえて、各担任で個人の目標を設定。

# 4. 今後の志向

## ○次年度の教育課程・年間指導計画について

### ●週時間割

R5

	月	火	水	木	金		
	9:00 登校						
9:00	日生 (0.6)	日生 (0.6)	日生 (0.6)	日生 (0.6)	日生 (0.6)		
9:30	国語 (0.4)	数学 (0.4)	国語 (0.4)	数学 (0.4)	自立 (0.4)		
9:50	保健体育 (1.1)	作業 (1.1)	保健体育 (1.1)	作業 (0.6)	国語 (0.9)		
9:55				自立 (0.5)	総学 (0.2)		
10:50	特別活動 (1.1)	作業 (1.1)	音楽 (0.5)	作業 (0.6)	数学 (0.9)		
11:00			美術 (0.5)	職業・家 庭(0.5)	総学 (0.2)		
	休み時間			休み時間			
11:55	給食準備・給食(日生) (3.5)						
12:00	給食準備・給食(日生) (3.5)						
12:35	昼休み						
12:50	掃除(日生) (2.0)						
13:10	休み時間			休み時間			
13:15	総学 (0.5)	作業 (0.4) 生単 (0.7)	日生 (0.8)		社会 (0.05)		
13:50	社会 (0.1)		13:50 下校	生単 (1.1)	理科 (0.05)	各教科等(1.1)	
	理科 (0.1)				外国語 (0.05)		生単 (0.95)
	外国語 (0.1)						
	道徳 (0.3)						
14:10	日生 (0.8)	日生 (0.8)		日生 (0.8)	日生 (0.8)		
14:50	14:50 下校			14:50 下校			



R6(予定)

	月	火	水	木	金				
	9:00 登校								
9:00	日生(1)	日生(1)	日生(1)	日生(1)	日生(1)				
9:50	国語(1)、数学(1)、保健体育(2)、作業学習(2.6)、自立活動(0.6) 各教科等(4)								
9:55									
10:50	国語(1)、数学(1)、保健体育(2)、作業学習(2.6)、自立活動(0.6) 各教科等(4)								
11:00									
11:55	休み時間			休み時間	休み時間				
12:00	給食準備・給食(日生) (3.5)								
12:35	昼休み								
12:50	掃除(日生) (2.0)								
13:10	休み時間			休み時間					
13:15	日生(0.8)	休み時間	日生(0.8)	休み時間	休み時間				
13:50		作業学習(0.2) /各教科等 (0.9)		13:50 下校	各教科等(1.1)	特別活動(1.1)			
		日生(0.8)					14:50 下校	日生(0.8)	日生(0.8)
		14:50 下校							

※各教科等については、社会(0.4)、理科(0.3)、音楽(0.4)、美術(0.5)、職業・家庭(0.6)、外国語(0.3)、道徳(0.3)、生活単元学習(2.1)、総合的な学習の時間(1.1)を時期に応じて単元計画し実施する。

# ○次年度の教育課程・年間指導計画について

## ●年間指導計画

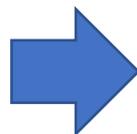
生単と一部の教科学習の内容や単元の組み方を整理。

### R5

### R6(予定)

(例)理科

月	【高】道徳体験(2・3年)、実践会演(1年)~3/7(金)	日生0.6	自立0.4	保体1.1	保体1.1	日生0.7	日生0.4	学部生単1.1	日生0.8
火	【小】学校見学(南保育園 専長 8:55)【保】保護者説明(小)	日生0.6	国0.4	作業1.1	作業1.1	日生0.7	日生0.4	学部生単1.1	日生0.8
水	【高】保護者説明(中)	日生0.6	数0.4	保体1.1	保体1.2	日生0.7	日生0.4	日生0.8	
木	【中】バス乗車体験【通】事業所向け学校公開	日生0.6	国0.4	社1.1	学部生単1.1	日生0.7	日生0.4	理1.1	日生0.8
金	【通】事業所向け学校公開	日生0.6	数0.4	理G1.1	数G1.1	日生0.7	日生0.4	生単1.1	日生0.8



火		日生1	作業1.1	自立1.1		日生0.7	日生0.4	理1.1	日生0.8
水		日生1	国G1.1	保体1.2		日生0.7	日生0.4	日生0.8	
木		日生1	数G1.1	理1.1		日生0.7	日生0.4	理1.1	日生0.8
金		日生1	理1.1	理1.1		日生0.7	日生0.4	特活1.1-学活	日生0.8
土									

内容を生単と関連させながら実施。

内容を単元化し、一時期にまとめ取りして実施。



## 生単を計画する上で大切にしたいキーワード

一つのテーマに向かってみんなで取り組むことができる

季節や時期、地域、行事、生徒の興味・関心に沿ったテーマ

学んだことを生活の中で使う、役立てる

生活年齢に即した内容

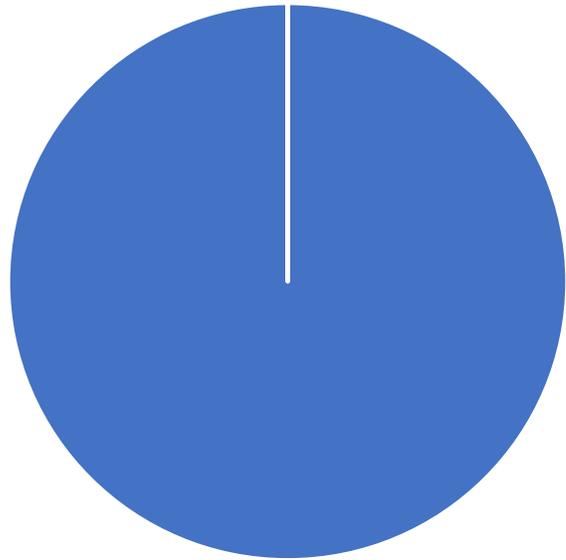


# 家庭とのつながり

# おわりに・・・

本年度の実践を通して、中学部職員にアンケートを実施。

○本研究を通して、自身の実践力は向上したと感じるか



■ 向上したと感じる

■ 向上しなかったと感じる

○どのような点が向上したと感じるか

- ・生単における目標設定や評価の仕方について自分の中で整理ができた。
- ・単元を通して、生徒にどのような姿になってほしいのか、明確なねらいをもって授業計画ができるようになった。
- ・目標設定による個々に応じた手立ての立て方などから授業者間での連携が取れ、よりよいアイデアがうまれた。
- ・単元計画を考える上で、生徒の実態や季節や時期に応じた単元を考えることで、よりテーマに沿った単元を考えることができるようになったと思う。
- ・目標設定で各教科の割合のについて意識づけになった。授業検討会でいろいろな先生からの助言により授業づくりに対するスキルアップの良い機会となったと感じる。
- ・各教科における目標を設定することで意識して授業に取り組むことができた。
- ・個々に応じた手立ての立て方
- ・生活単元学習の単元目標や授業内容を考えるとき、どんなところに着目したり、考慮したりしたら良いのかが、授業研や全体研修（研究部企画の夏の研修）を通して、以前よりも自分の中でこうするとより良いのでは？と思うことが増えた。